

令和7年度「いわて新農業人チャレンジファーム」第4回研修を開催しました！

第4回の研修は、令和7年5月16日（金）と17日（土）に雫石町南畑のコテージむらにおいて開催しました。

今回は、栽培管理①、トマトの栽培についての講義と、トマトの定植を実施しました。

講義では、畦立てや支柱立て、誘引方法の目的や、マルチフィルムの敷設理由とその効果について指導員から解説しました。受講生からは、「マルチの種類、必要性を理解できた。」「新たな知識を習得できて、とても参考になった。」などの感想が寄せられました。

休憩後の実習では、実習ほ場のパイプハウスにおいて、トマト苗の定植作業を行いました。白黒ダブルマルチを栽培槽に敷設し、灌水チューブに傷付けないよう気を付けながら穴開け器でマルチに穴を開けました。研修当日は気温が上がり、パイプハウス内は暑かったですが、休憩を挟みながらトマト苗の定植を終えるこ

とことができました。

また、土曜日コースでは、露地ほ場においてピーマン苗とナス苗を定植しました。

ピーマンとナスの栽培畦へ黒色マルチを敷設するときに、マルチの中心と畦の中心を合わせるようにして土で抑えていくことと、2人で進むスピードを合わせることを意識するよう指導員から説明があり、受講生は意識して、声を掛け合いながら作業を進めていました。

まだ、鍬の使い方に慣れない受講生もいましたが、今後の研修に積極的に取り組み、上手に扱えるよう経験していただきたいと感じました。

次回の第5回研修は、令和7年5月23日（金）及び24日（土）に、雫石町南畑コテージむらにおいて、種子と種まき、オクラの栽培、ねぎの栽培についての講義と、オクラのは種、ねぎの定植を実習で行う予定です。



トマト栽培槽へ白黒ダブルマルチを敷設する受講生



トマトの苗を定植する様子



ピーマン、ナスの栽培畦へ黒色マルチを敷設する受講生



ナス苗を定植する受講生